

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	救助艇整備事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	風水害等の災害に対応を必要とする市民	意図	台風災害や河川等で発生した災害に迅速かつ的確に対応し、市民の安心・安全に寄与する。
事業内容	平成17年度に購入した救助ボートの老朽化に伴い、水難救助現場において破れても穴が開いても沈むことがない救助艇（ウレタン注入ボート）へ更新整備するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	購入から13年経過した救助ボートの老朽化により、災害時、厳しい環境下での隊員の安全確保と機能性に富んだ救助艇（ウレタン注入ボート）へ更新し、市民への安心・安全に寄与するもの。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	救助件数	94	97	107	件	\\	各年度の救助件数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 台風等による水難救助事案のほか、大規模災害時に最大限の力が発揮できるよう職員の意識の高揚及び使命感がより一層増しているところである。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				7,004,796				
事業費(b)(円)				3,049,596				
うち一般財源				549,596				
職員給与費(c)(円)				3,955,200				
人役・職員(人)				0.60				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	更新整備のため記載なし	③取組における課題(Check)	次期更新に向けての課題と検証
②H30に実施した取組(Do)	更新整備のため記載なし	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	次期更新に更なる充実強化を図る。